情報処理学会東北支部だより
第１８７号

発行責任者 阿曽 弘具 (支部長)
事務局　　大町 真一郎 (庶務幹事)

〒 980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 05
東北大学大学院工学研究科
Tel: 022-217-7087
Fax: 022-263-9418
email: machi@aso.ecei.tohoku.ac.jp

1　情報処理学会東北支部記事

1.1　新支部長よりごあいさつ (記事通番 00-01)

東北大学大学院工学研究科教授 阿曽弘具 **(aso@aso.ecei.tohoku.ac.jp)**

21 世紀を目前にした今年 2000 年，伝統ある情報処理学会東北支部の支部長を務めさせて頂くことになり，学会活動に貢献する決意を新たにしています．

最近，世上では IT 革命が叫ばれています．IT とは Information Technology，すなわち，情報技術ですが、Technology は工学を意味し，情報工学でもあるわけです．アメリカでは，ACM(Association for Computing Machinery) という名に代表されるように，計算機を中心に据えた形で情報処理を考えてきたように思われます．理論分野でさえ，Theoretical Computer Science(理論情報科学) といってきました．それが，計算機ネットワーク技術の発展に伴い，計算機というハードウェア中心から情報自体を中心に据えた考えに変わってきたことを意味するのではないかと考えています．一方，日本では，早くから「情報の処理」に着目し，関連する分野を情報工学，情報科学といってきました．情報自体を中心に据えた情報学も古くから提唱されています．情報の抽出・表現・処理法・処理の原理に注目して展開されてきたといえます．この意味では，革命ではないのです．しかし，別な意味ではやはり革命なのでしょう．

インターネットという語に集約されるように，情報通信は身近なものになり，数値計算以外の分野での情報の処理が当たり前になってきました．情報処理が計算機でどのように行なわれているかを考えることなく，また，その動作原理を知る必要もなく，マウスを操りキーボードを叩いて情報処理できるようになってきたことが，パソコン利用の大衆化をもたらしました．ここには利用者サイドにたった膨大なアプリケーションソフトウェアの発展があります．計算機をどう利用するかという視点ではなく，情報をどう処理したいかという視点で計算機が活用されています．情報処理，情報通信の大衆化が現在の IT 革命の本質だと思います．

本学会は，このような発展に多くの寄与をしてきましたが，これからの情報化社会を形作る役割を負っていることを自覚し，インフラストラクチャ構成の担い手として活動していくことが求められています．情報のグローバル化に伴い，情報の利用に関わる倫理やセキュリティも大きな課題になっています．現状への深い洞察とそれから生まれる先見の明をもって，21 世紀に向けてさらに飛躍することをめざしていきましょう．

1.2　平成 12 年度支部総会報告 (記事通番 00-02)

平成１２年度東北支部通常総会は，５月１０日（水）１３時より，東北大学工学部電気情報館４階４５１・４５３号室において開催され，樋口前支部長を議長として下記案件を異議なく承認可決した．出席者１８７名（委任状１７５名を含む）．

総会後，東北大学工学部電気・情報系１０１大講義室においてトヨタ自動車の川橋　憲氏が「２１世紀の自動車とそのＶＬＳＩ技術の展望」という演題で，トヨタ自動車の杉本雅裕氏が「２１世紀の自動車用センサとそのマイクロマシニング技術の展望」という演題で講演を行い，盛会のうちに終了した（参加者約２５０名）．

その後，市内ホテルで行われた懇親会には１６名が参加し，講演者を囲んで親交を深めた．

情報処理学会東北支部庶務幹事
大町真一郎

1.3　平成 12 年度支部総会資料 (記事通番 00-03)

議題

[報告事項]

1. 平成１１年度東北支部活動報告
2. 平成１１年度収支決算報告
3. 平成１１年度支部奨励賞の選考結果
4. 平成１１年度支部奨励賞の贈呈
5. 平成１２年度役員改選結果
6. その他

[審議事項]

1. 平成１２年度事業計画案
2. 平成１２年度予算案
3. その他

1. 平成１１年度東北支部活動報告

(a) 支部総会
平成１１年４月２１日（水）に東北大学工学部青葉記念会館５階５０１号室において開催．参加者１５８名（委任状１４０名を含む）．

(b) 研究講演会４回開催（第２７６回 ~ ２７９回）

東北大	２回
秋田大	１回
岩手大	１回

(c) 研究会開催（５回）
平成１１年　７月２１日（水）　弘前大学　発表件数：　９件
平成１１年１０月２８日（木）　秋田大学　発表件数：１２件
平成１１年１１月２９日（月）　岩手大学　発表件数：２０件
平成１２年　１月２１日（金）　日本大学　発表件数：１９件
平成１２年　３月１３日（月）　山形大学　発表件数：２６件

(d) 共催シンポジウムおよびセミナー
なし

(e) 電気関係学会東北支部連合大会への参加
日時：平成１１年8月１９日（木）~２０日（金）於八戸工業大学

(f) 平成１１年度東北支部奨励賞の贈呈（５名）
伊藤輝樹（八戸工業大学）
藤本忠博（岩手大学工学部）
堀田忠義（岩手大学工学部）
石沢千佳子（秋田大学工学資源学部）
佐藤　勝（岩手大学工学部）

(g) 支部だよりの発行
第１８３号~第１８６号までの４回

(h) 平成１１年度役員会等の開催（幹事会２回、役員会１回）
平成１１年７月　９日（水）第１回幹事会
（みわ亭）
平成１２年２月２３日（水）第２回幹事会
（稲荷小路の○ △ □ ）
平成１２年３月１５日（水）第１回役員会
（ＮＴＴデータ東北支社６階第二会議室）

2. 平成 12 年度役員（*：新任）

支部長	阿曽弘具*（東北大）
監事	谷口和道*（ＮＴＴデータ東北）
庶務幹事	大町真一郎*（東北大）
	伊藤政彦*（ＮＴＴデータ東北）
会計幹事	菅沼拓夫（東北大）
	竹内良和*（富士通）
広報幹事	庄司文一（沖電気）
	瀧本英二*（東北大）
評議員	岩本正敏*（東北学院大）
	瓜生広仁*（富士通東北システムエンジニアリング）
	大里延康*（日大）
	大久勝雄*（三菱電機）
	岡 敏幸*（日立東北ソフトウエア）
	加藤　寧（東北大）

加藤　靖（仙台電波高専）
木下哲男（東北大）
清水俊夫*（弘前大）
杉山雅英*（会津大）
鈴木康司*（東芝）
武田和時*（秋田県立大）
田中　寛*（青森公立大）
千葉洋一郎*（日立）
奈良　久（八戸工大）
西田　眞*（秋田大）
布川博士*（岩手県立大）
羽生貴弘*（東北大）
樋口龍雄*（東北大）
前口正廣*（富士通）
水野　尚*（東北工大）
村岡一信（岩手県立大）
盛岡宏章*（日本アイ・ビー・エム）
横山晶一*（山形大）
吉田孝敏*（ソニーシステムデザイン）
芳野 実*（日本電気）
脇坂知行（東北日本電気ソフトウエア）

3. 平成１２年度事業計画

(a) 支部総会　平成１２年５月１０日（水）

(b) 研究講演会等　１４回程度（うち６回程度は仙台以外で開催）

(c) 研究会　５回（宮城県を除いた５県）

(d) 電気関係学会東北支部連合大会
平成１２年８月２４日（木）・２５日（金）於会津大学

(e) 支部だよりの発行　４回程度（ペーパーレス化にて電子メールにてお知らせ）

(f) 支部奨励賞の贈呈　若干名

(g) その他

4. 平成１１年度決算および１２年度予算（単位：円）

(a) ［収　入］

	平成１１年度		平成１２年度
	予　算	決　算	予　算
本部交付金	1,820,000	1,820,000	1,750,000
広告収入	420,000	389,970	100,000
利息	500	713	500
前年度繰越金	354,806	354,806	394,873
計	**2,595,306**	**2,565,489**	**2,245,373**

(b) [支　出]

	平成１１年度		平成１２年度
	予　算	決　算	予　算
事業費	**2,048,000**	**2,083,340**	**1,690,000**
総　会	178,000	225,872	230,000
支部大会	300,000	270,525	300,000
講演会	50,000	60,000	280,000
研究会	180,000	170,000	200,000
広報発行	1,260,000	1,256,943	530,000
支部表彰	80,000	100,000	150,000
事務費	**237,000**	**87,276**	**286,000**
通信費	70,000	0	70,000
印刷費	46,000	0	46,000
会議費	50,000	51,396	50,000
旅　費	21,000	30,000	70,000
諸　費	50,000	5,880	50,000
予備費	**310,306**	**-**	**269,373**
次年度繰越金	**-**	**394,873**	**-**
計	**2,595,306**	**2,565,489**	**2,245,373**

1.4　平成 12 年度 電気関係学会 東北支部 連合大会 特別講演のお知らせ (記事通番 00-04)

IEEE エジソン賞の受賞を記念して

「21 世紀に向けた創造性・独創性を高める大学教育」

- 講師：岩手県立大学学長　西澤潤一先生
- 日時：平成 12 年 8 月 24 日 (木) 15:30 ~ 16:30 特別講演，講演終了後懇親会
- 会場：会津大学講堂
  福島県会津若松市一箕町鶴賀
  http://www.u-aizu.ac.jp/location/welcome.jp.html
- 参加費：無料
- 事前参加申込み：不要

- 交通案内：東北新幹線・郡山駅からＪＲ磐越西線に乗換え「会津若松駅」で下車．郡山駅−会津若松駅間高速バスあり．会津若松駅から松長団地行きバスに乗車し (約 6 分)「会津大学前」にて下車．
- 懇親会について：講演終了後に，本連合大会の懇親会を開催いたします．
  懇親会費 一般 = ￥5,000- 学生 = ￥3,000-
- お問い合わせ先：電気関係学会東北支部連合事務局
  Tel/Fax: 022-217-7187
  E-mail: rengojimu@ecei.tohoku.ac.jp
- 東北支部連合大会について： http://www.ecei.tohoku.ac.jp/d8conf/

2 研究講演会のご案内

2.1 第２８０回研究講演会開催報告 (記事通番 00-05)

1. 演題：「２１世紀の自動車とその **VLSI** 技術の展望」
   - 講演者：川橋　憲 (トヨタ自動車 (株))
   - 講演要旨：２１世紀の自動車においては，インテリジェント化，情報通信利用技術，原動力革命の 3 点で大きな変革が起きる．現在，すでにこれらの点で実用化されつつある具体的なシステムを挙げ，これらを支える電子技術，半導体技術について現状と今後の展望について述べた．
2. 演題：「２１世紀の自動車用センサとそのマイクロマシニング技術の展望」
   - 講演者：杉本雅裕 (トヨタ自動車 (株))
   - 講演要旨：資源・環境保全，走行衝突安全のため，半導体センサは自動車に多く搭載されている．これを製造する基本技術であるマイクロマシニング技術の概要を説明し，半導体センサを構成するセンサ素子とこの出力を変換・調整する信号処理回路の現状と今後の動向について述べた．

- 日時：平成１２年５月１０日 (水) １４：４０ ~ １６：１０
- 場所：東北大学工学部　電気・情報館 101 大講義室
- 参加者：２５０名
- 報告者：大町真一郎
  東北大学大学院工学研究科
  〒 980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉０５
  Tel: 022-217-7087
  Fax: 022-263-9418
  email: machi@aso.ecei.tohoku.ac.jp

2.2　第２８１回研究講演会開催報告 (記事通番 00-06)

演題 :「学習するアルゴリズム」

- 講演者：丸岡　章 (東北大学大学院情報科学研究科教授)
- 日時：平成１２年 6 月２３日 (金) １５：００ ~ １６：３０
- 場所：秋田県立大学システム科学技術学部　G− Ｉ棟４０４会義室
- 講演要旨：学習を膨大なデータからその背後にある法則や概念を仮説として取り出す過程と捉え、これを広い意味での計算と見なし、そのメカニズムの解明を目指す計算学習理論の考え方を各種事例により説明した．さらに、エキスパートの予測の良さを表す”重さ”を逐次更新する方法によるオンライン予測の他に，ブースティング，決定木の生成，枝刈りなど，最近の計算学習理論の成果を概説するとともに，発見科学との関連について述べた．
- 参加者：２５名
- 報告者：阿部紘士
  秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科
  〒 015-0055 秋田県本荘市土谷字海老ノ口８４− ４
  Tel: 0184-27-2102
  Fax: 0184-27-2226
  email: abek@akita-pu.ac.jp

3　東北支部カレンダー

- 支部だより発行予定
  １８８号 (２０００年 9 月末日発行予定)
  １８９号 (２０００年１２月末日発行予定)
  １９０号 (２００１年 3 月末日発行予定)